

原子力被災者等の健康不安
に関する有識者懇談会

放射線による健康リスクを どう考えるか

2012年6月14日

読売新聞社会保障部

田中秀一

情報公開の失敗

2011年4月4日読売新聞

拡散予測公表せず

政府 欧州気象機関は開示

福島原発の放射性物質

東京電力福島第一原子力発電所の事故で、気象庁が同原発から出た放射性物質の拡散予測を連日行っているにもかかわらず、政府が公開していないことが4日、明らかになった。ドイツやノルウェーなど欧州の一部の国の気象機関は日本の気象庁などの観測データに基づいて独自に予測し、放射性物質が拡散する様子を連日、天気予報サイトで公開している。日本政府が公開しないことについて内外の専門家からは批判が上がっており、政府の原発事故に関する情報開示の在り方が改めて問われている。

気象庁 連日IAEAに報告

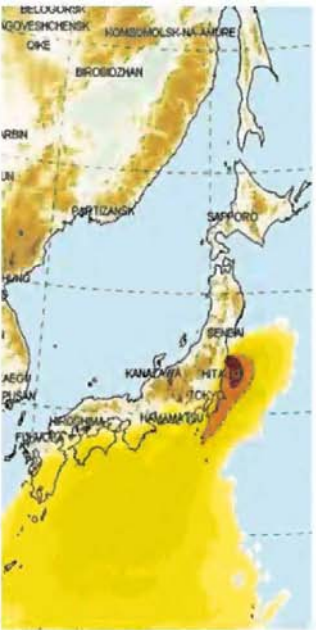
気象庁の予測は、国際原子力機関（IAEA）の要請に基づくもの。国境を越える放射性物質汚染が心配されるたびに、各国の気象

庁に協力して拡散予測を行う。同行では、東日本大震災

ている。具体的には、IAEAから送られてきた放射性物質の放出開始時間や継

続期間、どれくらいの高さまで上ったかを、風向きや天候など同庁の観測データを加えた上で、スーパーコンピュータに入力し、放射性物質の飛ぶ方向や広がり予測している。

しかし、同行は予測結果をIAEAに報告するだけで、一般に公表していない。IAEAは、同様の依頼を行った中国やロシアの気象



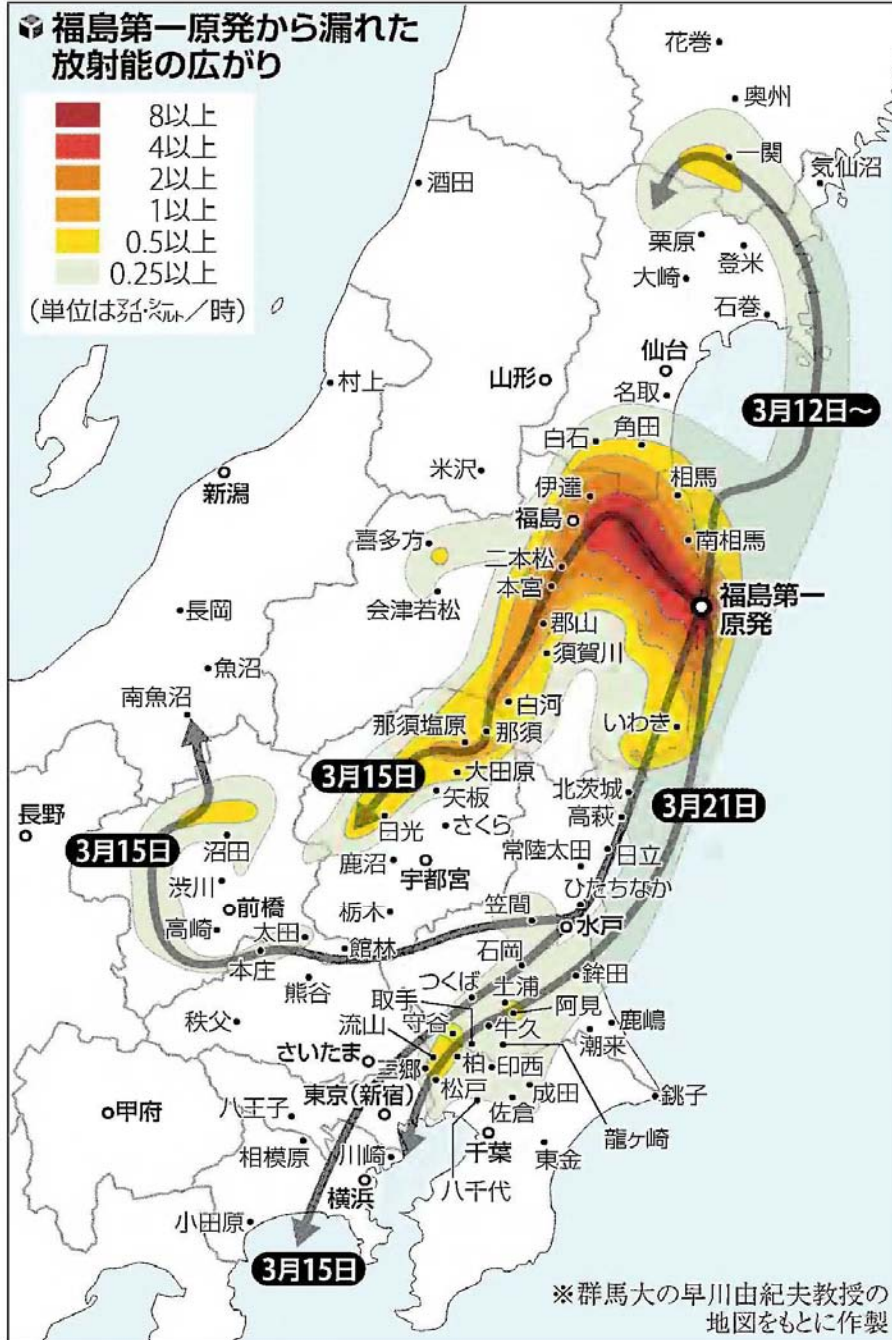
ドイツ気象局による福島第一原発から出た放射性物質の拡散分布予測（日本時間4月5日午後9時を想定）。原発からの放出量は不明とした上で、色が濃いほど、濃度が濃い傾向にあるとしている（ドイツ気象局のホームページより）



福島第一原発から漏れた放射能の広がり



(単位はマイクロシーベルト/時)



情報公開と住民の信頼

ホット・スポットは危険？

- 日光・那須などの観光地も含まれる。旅行客のキャンセル続出
- 日光・那須に3日間、屋外で滞在すると被曝量は0.04～0.07 mSv
- 東京・ニューヨーク間の往復で浴びる自然放射線(0.2 mSv)の5分の1から3分の1
- 日光への修学旅行は海外旅行より、はるかに安全

放射線被曝と発がんリスク

(鈴木元・国際医療福祉大教授による)

■ 日本人男性のがん死亡率 約30%

■ 急性被曝によるがん死亡リスクの増加幅

	100mSv	20mSv	5 mSv
10歳男児	2・1%	0・4%	0・1%
30歳男性	1・0%	0・2%	0・05%
50歳男性	0・3%	0・1%	0・02%

(遷延被曝ではリスクは半減)

被曝と肥満 がんリスク

- BMI(基準値20~25)が30になると、がんのリスクが1.2倍になる
- 10歳男児が肥満になると、生涯のがん死亡リスクは30%から36%になる
- 5 mSv被曝で、がん死亡リスク0.05%上昇
- 子供たちが被曝することと、被曝を避けようと室内にこもり運動不足で肥満になるのでは、どちらが危険？ 後者は120倍リスクが高い
- 不安解消にはリスクの比較・相対化が重要

放射線被曝と様々なリスク

	死亡リスク
■ 喫煙が原因の病気	17%
■ 大気汚染による病気	1・3%
■ 自殺する確率	0・92%
■ 100mSvの被曝	0・5%
■ 交通事故	0・15%
■ 20mSvの被曝	0・1%
■ 殺人事件	0・05%

『「反原発」の不都合な真実』(藤沢数希著)

ゼロリスクを求める心理

- 原発事故後、関東から西日本に引っ越したり、西日本産の農産物を買って求めたりした人々
- BSE(牛海綿状脳症)で全頭検査
- インフルエンザ全例にタミフル服用
- 頭痛の患者に「念のため」CT検査

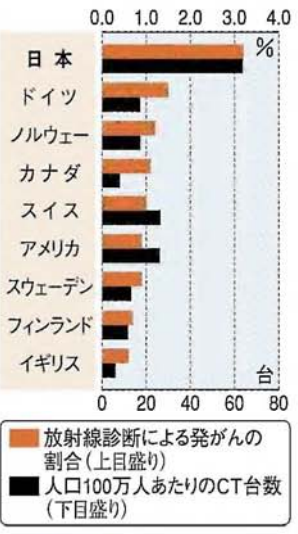
ゼロリスク追求のリスク

原因 被ばく診断 3.2% がん

CT普及背景

英の大学推定

国内でがんにかかる人の3.2%は、医療機関での放射線診断による被ばくが原因の発がんとして推定されること、英・オックスフォード大グループが行った初の国際的な研究で明らかになった。調査が行われた英米など十五か国の中でも最も高かった。CT（コンピューター断層撮影法）は二時典二面装置の普及などが背景とみられ、検査のあり方を巡り波紋を広げそうだ。この研究は英国の医学誌「ランセット」で報告された。



国ポーランドがともに0.6%で最も低く、米国0.9%最も高いクロアチアでも1.8%だった。日本は、千人あたりの年間検査回数が最多の千四百七十七回で、十五か国の平均の一・八倍。発がん率は平均の二・七倍で、一回の検査での被ばく量が他国より

研究は、各国のエックス線、CTなど放射線検査の頻度や、検査による被ばく量、さらに年齢、性別、臓器ごとに示した放射線の被ばく量と発がん率の関係について、日本以外では英

早期発見に貢献 過剰検査には注意

精密な検査が可能なCTは、がんの早期発見をはじめ脳卒中、骨折などの診断に革命的な進歩をもたらした。最近

一方で、撮影するほど医療機関の収入になることがあ



原発事故と避難生活

- チェルノブイリ原発事故
- 避難した家族では、子供たちの情緒障害や不安障害が、避難先の子たちより多かった
- 情緒障害には被曝量は関係なかった
- 放射線から逃げようとしたことで、別の心理的問題が大きくなってしまった

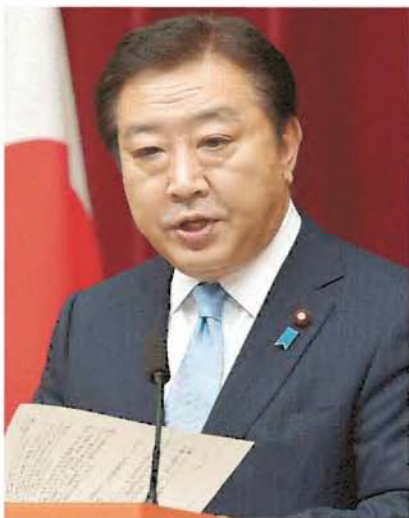
原発再稼働で「生活守る」

首相「夏限定」否定

中長期の重要電源

野田首相は8日、首相官邸で記者会見し、関西電力大飯原子力発電所3、4号機（福井県おおい町）について、国民生活を守るため、早期の再稼働が必要だと判断したと表明した。そのうえで、中長期的に原発を重要な電源と位置付ける考えを示した。大飯原発の地元・福井県は再稼働に同意する見通しで、政府は来週中にも同原発の再稼働を最終決定する方針だ。〈会見の全文11面、首相ぶれず3面、関連記事2・4・8・38面〉

大飯再開を明言



記者会見する野田首相8日夕、首相官邸で。清水敏明撮影

※動画はYOUTUBE

大飯原発再稼働で想定される今後のスケジュール

6月10日	福井県原子力安全専門委が安全性を判断
12日?	おおい町長が再稼働に同意
13日か14日	福井県議会が再稼働の判断を知事に一任
来週中?	福井県知事が再稼働に同意
	首相と関係閣僚による会合で再稼働を正式決定
7月2日	政府が全国に節電要請
7月上旬?	大飯3号機がフル稼働
7月下旬?	大飯4号機がフル稼働

首相は大飯原発について、「再起動すべき」というのが私の判断だ」と述べ、福井県や同県おおい町に対して再稼働への理解を改めて求めた。また夏場限定の再稼働では国民の生活は守れないと語り、橋下徹大阪市長らが求めた今夏に限定した再稼働を否定した。再稼働がない場合の影響について、電力価格の高騰で産業が空洞化し、雇用の場が失われる可能性や、突発的な停電により病院などで生命の危険にさらされる人が出ることを挙げた。

◆首相会見のポイント

国民生活への影響

原子力発電を止めたままでは日本の社会は立ちゆきません。突発的な停電が起これば、命の危険にさらされる人がいます。空洞化が加速して雇用の場が失われます。夏場限定の再稼働では、国民の生活は守れません。

立地自治体

私たちは豊かで人間らしい暮らしを電力供給地に頼って実現してきました。関西を支えてきたのが福井県であり、おおい町です。立地自治体への敬意と感謝の念を新たにしなければなりません。

再稼働判断

国民の生活を守るために、大飯発電所3、4号機を再起動すべきというのが私の判断であります。国政を預かる者として、人々の日常の暮らしを守るという責務を放棄することはできません。

原発再稼働をどう考えるか

- 化石燃料などによる大気汚染に伴う病気で、年間3万3000人～5万2000人が死亡
- 原子力発電の分をすべて火力発電で代替すると、大気汚染による死者が約3000人増加する

『「反原発」の不都合な真実』(藤沢数希著)

ゼロリスク追求のリスク

- ゼロリスクを追い求めると、別の新たなリスクが見えなくなる。別のリスクの方が大きいことも少なくない
- ゼロリスク追求は不可能であるばかりでなく、かえって危険。ある行動を取る時、どのようなリスクがあるか総合的に判断することが重要
- ゼロリスク追求心理を解消する情報提供の仕方が必要。リスクを比較し相対化するよう、多様な視点のデータを示す